

国道134号 トラスコ湘南大橋(下り線)耐震補強工事

1 目的

国道134号は、横須賀市を起点とし、三浦半島や湘南海岸を経て、大磯町の国道1号との交差点を終点とする全長約60.6kmの一般国道です。

本路線は、湘南地域の大動脈として重要な役割を担っており、地震等の大規模災害発生時に人員や物資を輸送するための第一次緊急輸送道路として指定されています。

当所では、平塚市、大磯町の約8.7kmの区間を管理しており、相模川河口部に架かる「トラスコ湘南大橋(下り線)」において、地震による橋の損傷を防止するため、平成30年度(2018年度)から橋脚の巻き立てによる耐震補強工事を推進しています。

2 概要

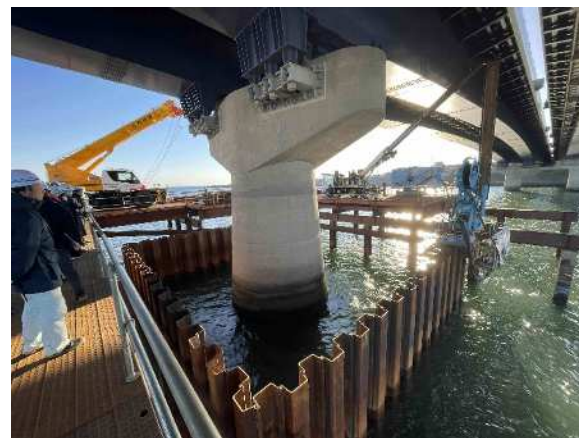
- 工事箇所 平塚市千石河岸地内他
- 工事概要 橋脚巻き立て N=8基 ※令和4年度迄に4基施工済
- 完成目標 令和8年度(2026年度)

3 写真

(1) 仮橋【P7】



(2) 仮締切【P7】



(3) ポリマーセメントモルタル吹付【P5】



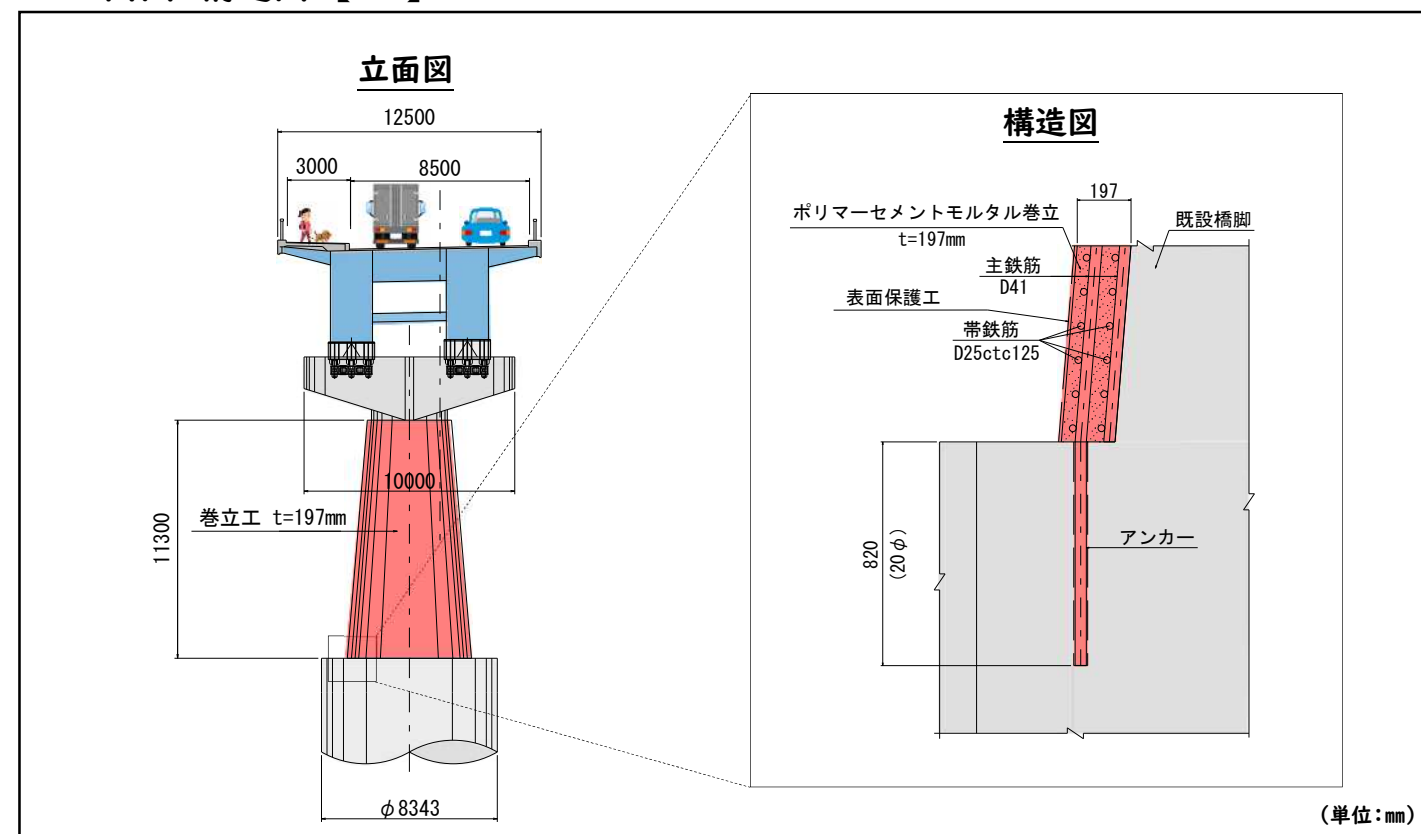
(4) 完成【P5】



4 平面図・側面図



5 立面図・構造図【P7】



※ トラスコ湘南大橋は、ネーミングライツパートナー制度により愛称を付けていただいております、その対価の一部を道路の維持管理に充当しています。